

# INSIGHTOUT

ROUND#7

## 環境民力調査データハイライト

### 生活総研

# 環境民力調査

国内調査

海外調査



**9,275サンプル**

# 調査概要 1 《国内調査》

---

## ■調査時期

2008年3月～5月

## ■調査地域 日本全国

## ■調査対象

12歳から69歳までの男女

## ■調査方法

インターネット調査

## ■サンプル数

7,175サンプル

年代	男性	女性
12-19歳	500人	500人
20-29歳	617人	618人
30-39歳	618人	617人
40-49歳	617人	618人
50-59歳	618人	617人
60-69歳	617人	618人
合計	3,587人	3,588人

# 調査概要 2 《 海外調査 》

---

■調査時期 2008年3月

■調査都市

ニューヨーク、トロント、  
ロンドン、パリ、  
フランクフルト、  
ミラノ、モスクワ

■調査対象

20歳から59歳までの男女

■調査方法

インターネット調査

■サンプル数

各都市300人、計2,100サンプル

年代	各都市共通	
	男性	女性
20-39歳	75人	75人
40-59歳	75人	75人
合計	150人	150人
7都市合計	1,050人	1,050人

# 分析のアンゲル

---

## 国内調査サンプル

12-19歳 1,000サンプル

---

20-59歳  
4,940サンプル

---

60-69歳 1,235サンプル

## 海外調査サンプル

20-59歳  
2,100サンプル

# 地球温暖化に対する強い危機感

Q. 地球温暖化の進行に、どの程度危機を感じていますか

(%)

日本全体	88.2
7都市全体	79.9
ニューヨーク	82.0
トロント	84.0
ロンドン	80.7
パリ	88.3
フランクフルト	83.3
ミラノ	80.7
モスクワ	60.0

※「危機を感じている」、「やや危機を感じている」の合計 / 日本 N=4,940、海外 N=2,100

# 地球環境保護への貢献意欲も高い

Q. 多少の手間やコストをかけても、  
地球環境保護に貢献したいと思いますか？

	(%)
日本全体	90.5
7都市全体	87.0
ニューヨーク	80.0
トロント	91.3
ロンドン	86.0
パリ	93.7
フランクフルト	86.7
ミラノ	94.3
モスクワ	76.7

※「貢献したい」、「やや貢献したい」の合計 / 日本 N=4,940、海外 N=2,100

# 経済発展より環境保護が大切

(%)

**A** 自国は**環境保護**に  
もっと目を向けるべきだ

**B** 自国は**経済発展**に  
もっと目を向けるべきだ

	A	B
日本全体	86.4	13.6
7都市全体	72.1	27.9
ニューヨーク	66.7	33.3
トロント	78.0	22.0
ロンドン	75.3	24.7
パリ	73.0	27.0
フランクフルト	64.7	35.3
ミラノ	74.7	25.3
モスクワ	72.7	27.3

※日本 N=4,940、海外 N=2,100

# 地球温暖化の進行には疑問なし

Q. 地球温暖化は本当に進行していると思う

(%)

日本全体	91.2
7都市全体	87.1
ニューヨーク	83.0
トロント	89.7
ロンドン	86.0
パリ	89.7
フランクフルト	88.7
ミラノ	90.3
モスクワ	82.3

※「あてはまる」、「ややあてはまる」の合計 / 日本 N=4,940、海外 N=2,100

# 多くの人が日常生活の中で気候変動を実感

Q. 日本の気候や季節、自然の変化について、  
どのような実感を持っていますか？

(%)

夏の暑さが厳しくなった	81.8
夏が長くなった	69.7
大雨・豪雨が増えた	61.0
雪が降る日が減った	57.0
寒い日が減った	54.7
霜や霜柱が減った	52.2
春らしい気候の期間が短くなった	50.8
桜の開花が早くなった	47.6
紅葉の時期が遅くなった	46.2

※「日常生活の中で実感している」の値 日本全国 20歳-59歳 男女 N=4,940

# しかし、その原因の理解は最低水準

Q. 地球温暖化のメカニズムや原因を理解している

(%)

日本全体	68.7
7都市全体	79.3
ニューヨーク	78.0
トロント	86.3
ロンドン	82.3
パリ	80.3
フランクフルト	85.0
ミラノ	71.3
モスクワ	71.7

※「あてはまる」、「ややあてはまる」の合計 / 日本 N=4,940、海外 N=2,100

# 何をすべきかの理解も、最低水準

Q. 地球温暖化防止のために、  
自分がどのように行動すべきかを理解している

(%)

日本全体	52.8
7都市全体	75.7
ニューヨーク	78.0
トロント	86.3
ロンドン	87.3
パリ	82.0
フランクフルト	72.7
ミラノ	68.0
モスクワ	55.3

※「あてはまる」、「ややあてはまる」の合計 / 日本 N=4,940、海外 N=2,100

# 環境行動の習慣化は最も低い

Q. 環境に配慮した生活が日常的な習慣になっている

(%)

日本全体	53.1
7都市全体	80.1
ニューヨーク	72.0
トロント	88.3
ロンドン	80.7
パリ	86.0
フランクフルト	76.0
ミラノ	89.7
モスクワ	68.3

※「あてはまる」、「ややあてはまる」の合計 / 日本 N=4,940、海外 N=2,100

# ゴミの分別は世界トップ水準

Q. ゴミは地域のルールにしたがって、  
きちんと分別して出す

(%)

日本全体	94.8
7都市全体	82.4
ニューヨーク	87.7
トロント	93.7
ロンドン	88.3
パリ	88.7
フランクフルト	95.0
ミラノ	85.7
モスクワ	38.0

※「いつも実行している」、「ときどき実行している」の合計 / 日本 N=4,940、海外 N=2,100

# 日本の生活者の環境行動ランキング（1位-14位）

Q. 以下の地球環境に配慮した行動を、どの程度実行していますか？

(%)

1) ゴミはきちんと分別して出す	94.8
2) 不要な照明をこまめに消す	91.5
3) 古紙や空缶などをリサイクルにまわす	87.9
4) 水道をこまめに止める	85.8
5) 暖めすぎない暖房温度に設定する	80.3
6) シャワーはこまめに止める	78.1
7) 省エネ効果の高い家電製品を選ぶ	76.5
8) 物が故障した時には、修理して長く使う	74.4
9) できるだけゴミを出さないようにする	64.0
10) 買い物袋を持参し、レジ袋を断る	62.1
11) エコマークなどのついた商品を購入する	61.4
12) 使わない電化製品のコンセントを抜く	58.6
13) 外出する時は、公共交通機関を使う	58.3
14) 不用品をリユース、リサイクルにまわす	53.6

※「いつも実行している」、「ときどき実行している」の合計 / 日本全国 20歳-59歳 男女 N=4,940

# 日本の生活者の環境行動ランキング（15位-27位）

Q. 以下の地球環境に配慮した行動を、どの程度実行していますか？

(%)

15) 地域でとれる食材を購入する	53.3
16) 水筒、マグカップを持ち歩く	44.4
17) 環境に配慮している企業の商品を選ぶ	38.1
18) 書籍やネットで環境保護の学習をする	29.9
19) 環境に配慮した小売店・飲食店を利用	22.9
20) 環境保護のための募金や寄付をする	19.8
21) 地域の緑化活動に参加する	12.6
22) 環境保護に役立つ金融商品を利用する	11.9
23) 太陽光などのクリーンエネルギーを使う	11.8
24) 森林を保全、整備する活動に参加する	11.4
25) 環境保護のボランティア活動に参加する	8.4
26) 自分が排出しているCO <sub>2</sub> 量を測定する	4.4
27) カーボンオフセット募金をする	4.4

※「いつも実行している」、「ときどき実行している」の合計 / 日本全国 20歳-59歳 男女 N=4,940

## 日常のちょっとした環境行動は常識に

ゴミはきちんと分別して出す	94.8%
不要な照明をこまめに消す	91.5%
古紙や空缶などをリサイクルにまわす	87.9%
水道をこまめに止める	85.8%
暖めすぎない暖房温度に設定する	80.3%
シャワーはこまめに止める	78.1%

※「いつも実行している」、「ときどき実行している」の合計 / 日本全国 20歳-59歳 男女 N=4,940

## 消費における環境行動も多数派に

省エネ効果の高い家電製品を選ぶ	76.5%
買い物袋を持参し、レジ袋を断る	62.1%
エコマークなどのついた商品を購入する	61.4%
不用品をリユース、リサイクルにまわす	53.6%
地域で取れる食材を購入する	53.3%

# 社会的な環境保護行動の普及はこれから

環境保護のための募金や寄付をする	19.8%
地域の緑化活動に参加する	12.6%
森林を保全、整備する活動に参加する	11.4%
環境保護のボランティア活動に参加する	8.4%
カーボンオフセット募金をする	4.4%

# 利便性へのこだわりは世界トップ水準

Q. 地球温暖化防止のために、  
現在の便利な生活を犠牲にしたくない

(%)

日本全体	42.1
7都市全体	28.0
ニューヨーク	33.7
トロント	27.3
ロンドン	35.0
パリ	18.7
フランクフルト	30.3
ミラノ	15.7
モスクワ	35.0

※「あてはまる」、「ややあてはまる」の合計 / 日本 N=4,940、海外 N=2,100

# 「環境に配慮した生活が快適」は最も低いレベル

Q. 地球環境に配慮した生活が快適だ

(%)

日本全体	51.1
7都市全体	80.2
ニューヨーク	83.7
トロント	90.3
ロンドン	85.7
パリ	84.0
フランクフルト	73.7
ミラノ	68.7
モスクワ	75.7

※「あてはまる」、「ややあてはまる」の合計 / 日本 N=4,940、海外 N=2,100

# 環境によい商品でも高くなったら買いたくない

(%)

**A** 環境にやさしい商品なら  
今より高くても買う

**B** 環境にやさしい商品でも  
高くなったら買わない

日本全体	45.5	54.5
7都市全体	53.5	46.5
ニューヨーク	55.7	44.3
トロント	55.3	44.7
ロンドン	46.3	53.7
パリ	56.0	44.0
フランクフルト	35.7	64.3
ミラノ	59.7	40.3
モスクワ	66.0	34.0

※日本 N=4,940、海外 N=2,100

# 家計を圧迫するコストの上昇には反対

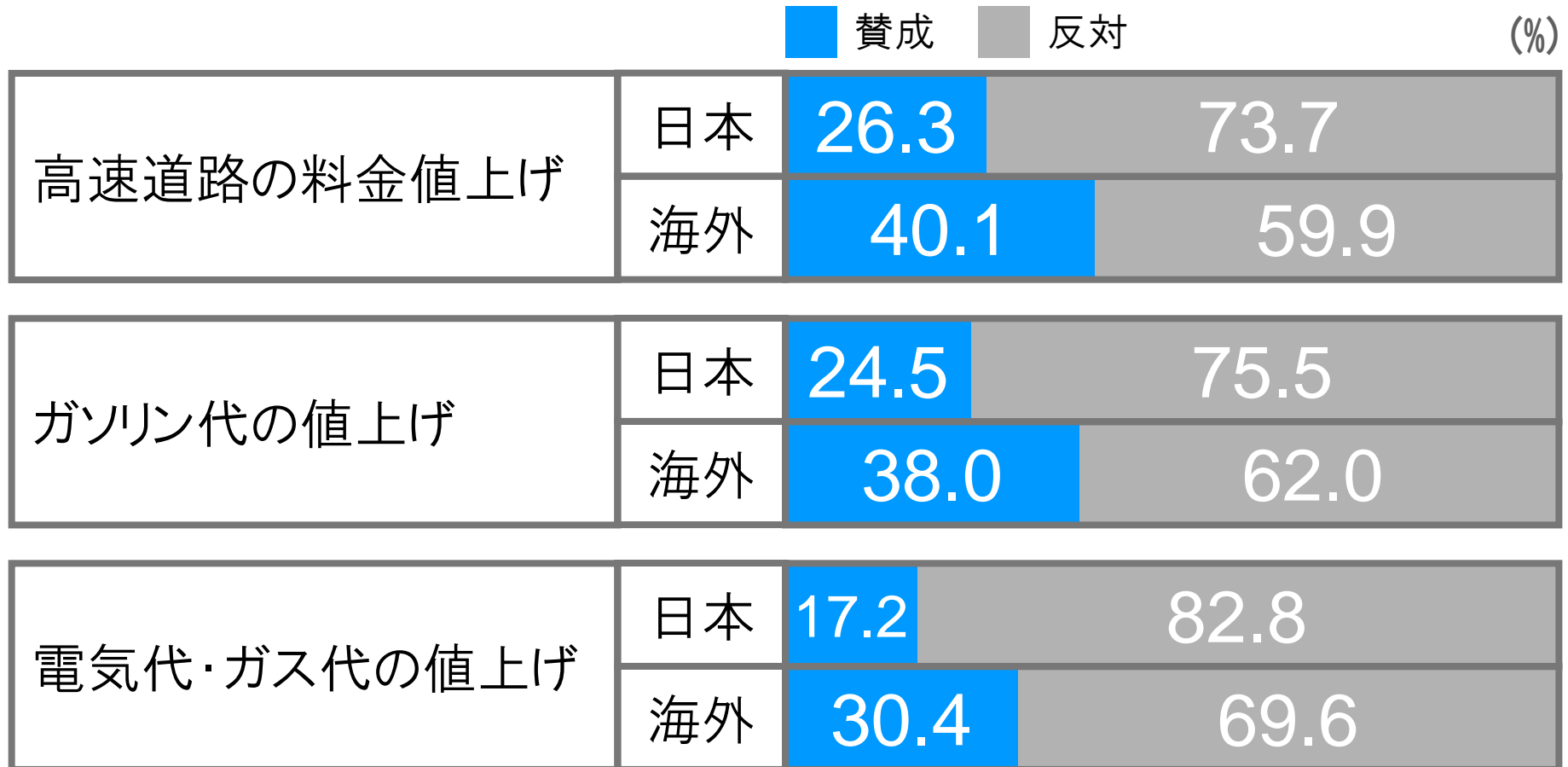
Q. 地球温暖化対策のために、次にあげる値上げや、費用を負担することに賛成ですか、反対ですか？

	賛成	反対	(%)
ゴミ回収の値上げ、有料化	40.7	59.3	
タクシー代の値上げ	40.1	59.9	
渋滞の激しい一般道路の有料化	37.5	62.5	
航空運賃の値上げ	37.2	62.8	
高速道路の通行料金の値上げ	26.3	73.7	
ガソリン代の値上げ	24.5	75.5	
電気代・ガス代の値上げ	17.2	82.8	

※「賛成」、「どちらかという賛成」の合計 / 日本全国 20歳-59歳 N=4,940

# コスト上昇への反対は、海外と比較しても高い

Q. 地球温暖化対策のために、次にあげる値上げや、費用を負担することに賛成ですか、反対ですか？



※「賛成」、「どちらかという賛成」の合計 / 日本 20歳-59歳 N=4,940、海外 20-59歳 N=2,100

# 過半数が行政に期待

(%)

**A** 地球温暖化対策は  
行政が率先して行うべき

**B** 地球温暖化対策は  
市民が率先して行うべき

	A	B
日本全体	58.7	41.3
7都市全体	54.2	45.8
ニューヨーク	52.7	47.3
トロント	49.0	51.0
ロンドン	53.7	46.3
パリ	45.0	55.0
フランクフルト	65.7	34.3
ミラノ	44.0	56.0
モスクワ	69.7	30.3

※日本 N=4,940、海外 N=2,100

# 「消費者」よりも「企業」の責任

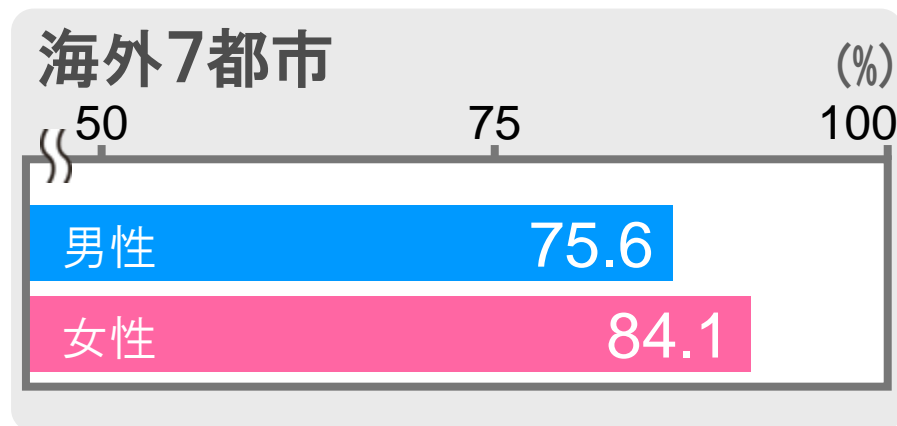
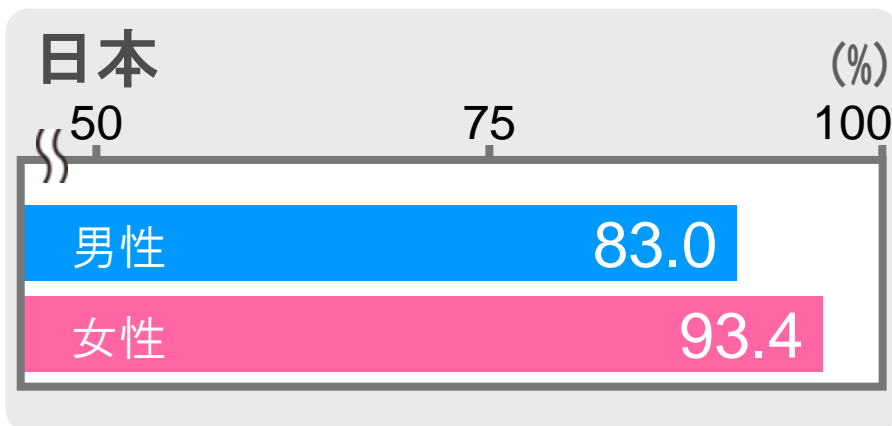


# 「市民の行動」よりも「技術革新」が重要

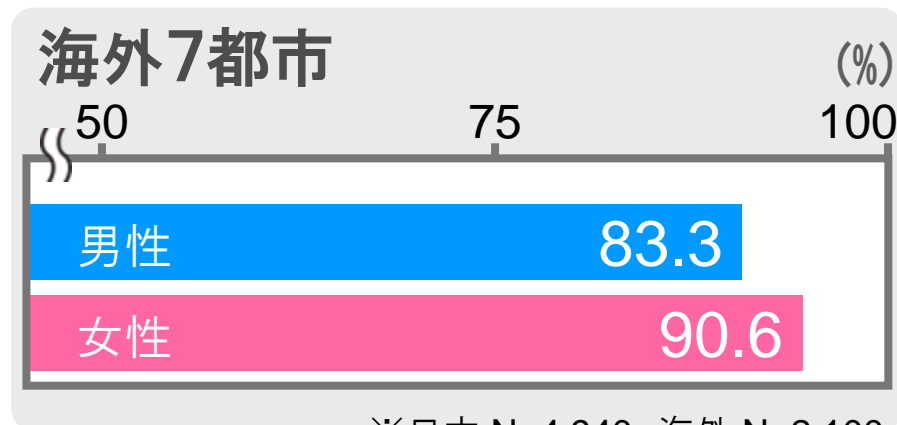
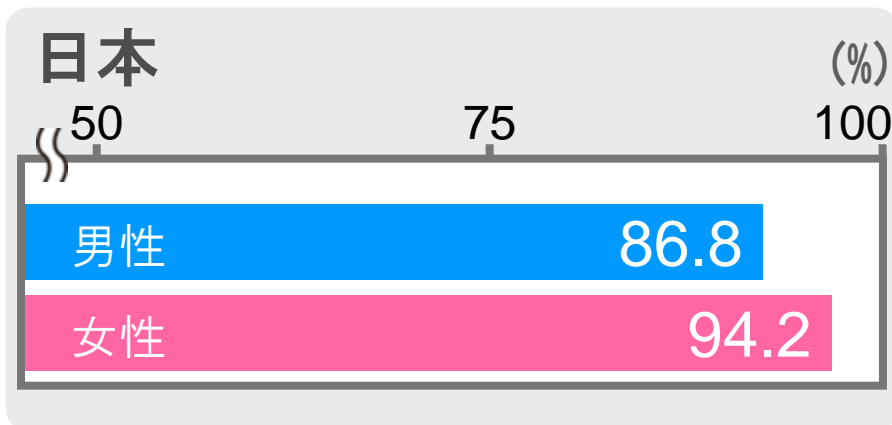


# 女性の環境意識が高いのは世界共通

Q. 地球温暖化の進行に、どの程度危機を感じていますか？



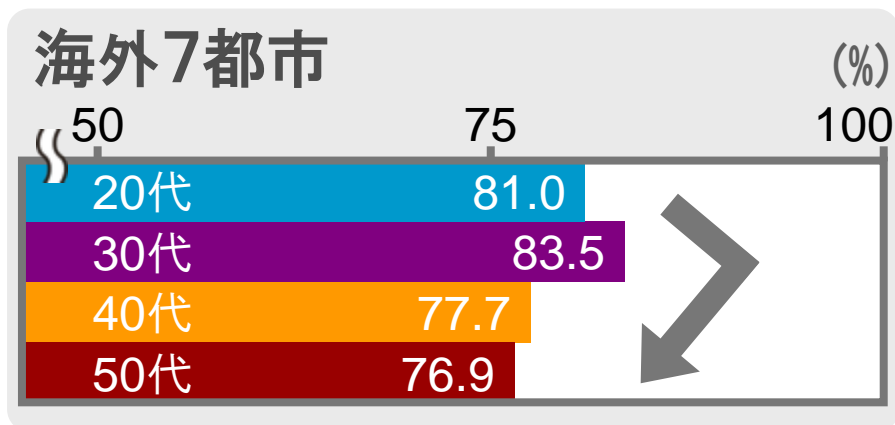
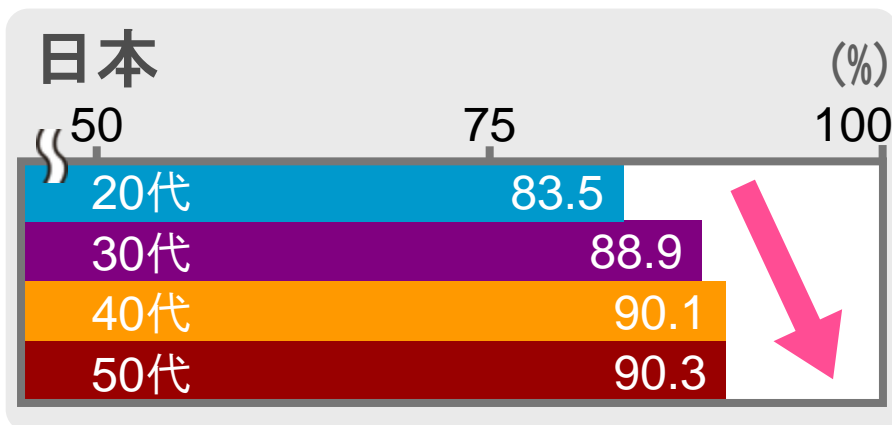
Q. 多少の手間やコストを掛けても、地球環境保護に貢献したいと思いますか？



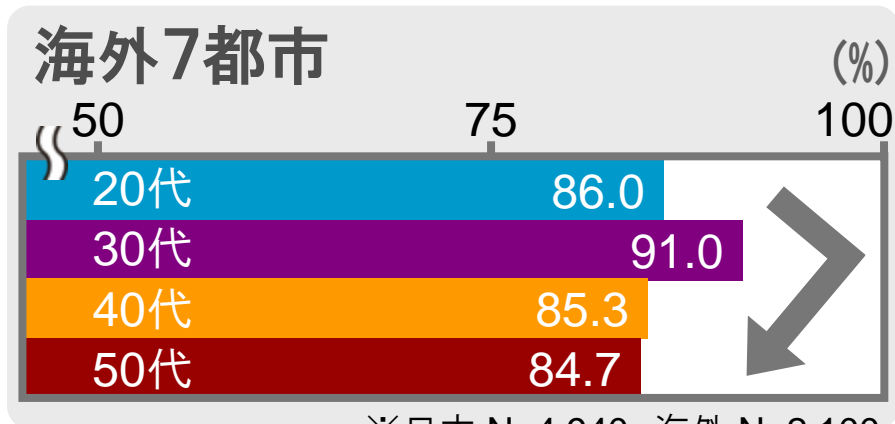
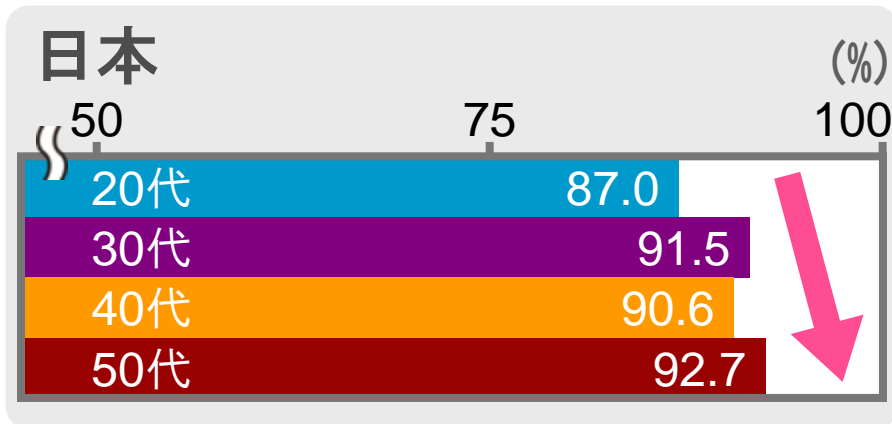
※日本 N=4,940、海外 N=2,100

# 年齢に従って環境意識が上昇するのは日本特有

Q. 地球温暖化の進行に、どの程度危機を感じていますか？



Q. 多少の手間やコストを掛けても、地球環境保護に貢献したいと思いますか？



※日本 N=4,940、海外 N=2,100



**HAKUHODO**

Copyright © 2008 Hakuhodo Institute of Life and Living, Hakuhodo Inc. All rights reserved.  
本件に関するお問い合わせ先 博報堂生活総合研究所 笥・斎藤 TEL : 03-6441-6450